

# 伝言板

## 韓国語講座

日時：4月 6日(月) 4月 27日(月)  
 初心者クラス 10:00~11:20  
 会話クラス 11:40~13:00  
 会費：3500円

初心者クラス：全く初めての方を対象としたやさしい会話を習うクラスです。  
 会話クラス：韓国語検定4・3級程度の韓国語が出来る方を対象とした会話クラスです。  
 クラスはすべて韓国語で進めます。

講師 邊美仙 (韓国 ソウル出身)



ソウルにて誠信女子大を卒業後、筑波大学の大学院修士課程を修了卒業

お問合せ・お申込み  
 篠崎 080-5543-7489



カタロにて

## ﾌﾘｰｽﾞ-ﾌﾞｯｸﾞ- ﾕﾞﾞﾘｰ

★カルチャーレッスン (プロバンスポッドアレンジ)  
 日時：4月19日(日) 10:00~12:30  
 4月25日(土) 13:00~15:30  
 費用：5,000円  
 ★母の日 体験アレンジ (どなたでも参加できます)  
 日時：4月30日(木) 10:00~12:00 (19日でも可)  
 費用：3,500円  
 ~どうぞご予約下さい!!~

お問合せ・お申込み：片岡 090-7267-4498  
 HP：http://p-f-cherie.petit.cc/

## Misa Quilt (ミサキルト)



～ハワイアンポーチ作り～  
 日時：4月21日(月)  
 10:00~13:00  
 料金：2500円(材料費込  
 ケーキセット付)  
 定員数：5名



毎月1回 ミサキルトの講習会を空～くう～で行います  
 手芸のお好きな方興味のある方、教室でない空間でキルトを楽しんでみませんか!!

お問合せ  
 荒井美佐子 0297-60-7207

## 甘味café空～くう～で 一日オーナーになってみませんか!

ケーキ・和菓子・飲み物・ランチetc・・・  
 ちょっとした喫茶店を貸しきってのホームパーティのように沢山の方々に腕をふるってみては??  
 もちろん私達スタッフもお手伝いさせていただきます。  
 詳しくは 0297-60-1666 (カタロ) まで



モデルハウス公開させていただきましたT様邸、引渡し式を行いました。

## …北澤工務店&甘味Cafe空～くう～から…

★4月12日、13日 オーラソーマカラーセラピーカタロにて開催!  
 ★4月のミニショップは・・ old dakoda～木の雑貨・布小物～  
 古代文字 ～書～

わたしが わたしであることを



わたしが わたしであることを  
 こころから うれしいと感じる時  
 あなたが あなたであることを  
 こころから 喜べる

わたしが わたしを生きて  
 わたしのこころが みたされる時  
 あなたが あなたを生きるのを  
 こころから いいな と感じる

そんな時  
 自分をひとくくらべる必要もない  
 ほめられても けなされても  
 わたしは わたしを生きるだけ

わたしが生まれてきたのは  
 わたしを生きるためだし  
 あなたが生まれてきたのは  
 あなたを生きるためなんだよね

詩集 11111 11111 11111  
 ～ハルミの風～  
 手塚郁恵



# 増築及び耐震リフォーム工事が始まりました！



工事のきっかけは・・・

市内に住まれるN様は、昭和63年に北澤工務店で施工させていただいたお客様です。角地に建つそのお家は屋根形状の美しい和風建築です。

当時まだ小さかったお嬢様が結婚され、出産をきっかけにご両親と同居されることになりました。年末アフターサービスにお邪魔した時にそのお話を伺い、さっそく計画を提案させていただくことになりました。

リフォーム工事の内容は・・・

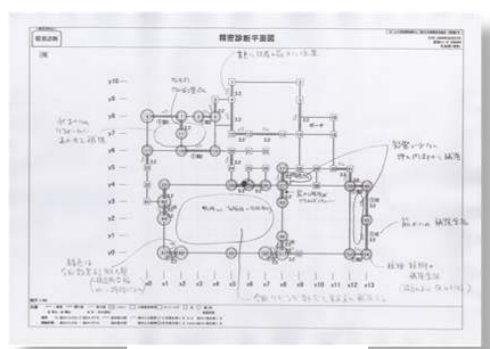
同居型の二世帯住宅となる場合、まず部屋の広さを中心に考えがちですが、まずは現行基準と異なる法律の元で建ったお家なので、部屋の増築とともに、耐震計画の見直しの提案をさせていただきました。

耐震計画は専門家に依頼し、中立な意見を取り入れることにしました。

次に念頭に置いたのは、『増築をした』ということがバレバレの一体感のない計画はやめよう、ということです。せっかく格好のいいお家が、増築によりバランスが崩れるのがもったいないからです。

その結果、収納部分はなるべく屋根の中を使い、増築部は屋根の形状を生かした変化のある部屋とし、将来子供部屋となる予定の部屋は大部屋となりました。先日の完成現場の見学会にもお越しいただき、2階部分はしっくいを中心とした自然素材で造ることになりました。

せっかく耐震リフォームもするのだから・・・ということで、1階部分も大々的にリフォームすることになりました。背中を向けていたキッチン是对面式となり、寒いタイルのお風呂はシステムバスに。床暖房はどうでしょうか・・・と検討中。。



精密診断平面図

地元の工務店として、仕事冥利に尽きる、とはまさに今回のことと言えます。何度も日々打ち合わせをさせていただいて感じることは、『家族の絆』の深さ、です。とても和やかなのです。信頼感と安心感に満ちているのです。世の中の最小単位の家族ががっちりスクラムを組んでいるN様邸の増築及び耐震リフォーム工事を、今月から連載します。

## ～おさむのひとごと～

事務所の前の桜並木は、例年より少しばかり早く可憐なピンク色の花が咲き始めました。別れと出会いが交差するこの季節、いかがお過ごしですか。

私の家族は長男が中学を卒業し、高校へ入学。長女が小学校を卒業し、中学校へ入学。子供たちよりも親の方がそわそわしていたような季節でした。



《小学校の卒業式》

子供たちの成長を見ていると、自分がどれだけ成長しているのか、いささか恥ずかしくなります。長女の小学校の卒業式のことを書きたいと思います。

市内で最も児童数が多い小学校の体育館は満席で、お祝いムード満点のデコレーションがされていました。お花がいっぱいの祭壇。見上げると青い空を羽ばたくイメージなのか、無数の鳩の切り紙が飛んでいました。

『卒業生、入場』のどっしりと重い言葉に続き、大きな拍手と音楽が流れました。もう、それだけでも胸が詰まりそうです。

そして、もうその感情を堰き止められなくなったのは、堂々と胸を張って、一年間真剣に関わってきた担任の先生が、その教え子たちを率いて入場してきた場面です。一年間、いろいろな事があったのでしょ。うまくいったことも、うまくいかなかった事もあったのでしょ。楽しかった事もつらかった事もあったと思います。その、総決算の日なのです。

ぼくは、子供の姿を見て胸が熱くなるのかと思っていました。でもそれは違いました。万感の思いを胸に、堂々と入場してくる先生の姿には、やり遂げた自信と、別れの悲しみ、そして教員としての誇りで満たされていたのです。

《ぼくの出番？》

P.T.A会長をさせていただいているぼくには、お祝いの言葉を述べさせていただく役割がありました。さてさて、困ったもんだ。なにを話そう・・・。

こういう時って、頭ばかりを動かすんです。もしくは無難な線で筆記しておいてそれを読む。。でも、それってぼくらしくないなあ。

で、決めたんです。『考えたこと』じゃなくて、その時に『感じたこと』を話そう、と。いわゆるぶっつけ本番。

自分自身なにを話したのかよく覚えていませんが、何人かの方から声をかけていただきました。『北澤さんの話を聴いたら、それまでガマンしていた涙が噴き出した』と。考えた言葉でなくてよかったあ。

普段の生活でもいえるかもしれません。アタマばかり働かせて生きている。でも、考えたことでうまくいく事なんて少ないかもしれない。お腹の中から感じたことこそ、人に伝わるのではないのでしょうか。P.T.A会長祝辞、素晴らしい体験をさせていただきました。

《妻の実家へ》

子供たちの成長の報告のため、久しぶりに妻の実家に行って来ました。この地にくるたびに思い起こすことがあります。それは、ぼくが一番揺れ動いていた時のこと。一番つらくて、苦しかった時のこと。。19歳の頃の記憶です。次はその時の一つのエピソードを書いてみたいと思います。

『アタマがおかしくなりそうだから、赤城山にいきます』

ノートをちぎってマジックで書きなぐり、それを自分の部屋の入り口に貼り付けた寒い季節の午前4時。相棒のSR400というシングルエンジンのバイクを親に気づかれぬように通りに出るまでそそっさと運び出しました・・・。

山梨県にある『日本航空高等学校』は、全寮制という閉鎖された空間の中で理想を目指し、ぼくたちを教育(強育?)した。ぼくはたぶん、素直にそれを自分のものとして3年間を過ごし、卒業した。

大学を目指すために一年浪人。高田馬場にある四ツ谷学院という予備校に通い始めた。その、その、、無垢で無防備なカッチカチの「きたざわおさむ」には、東京はあまりにも、あまりにも刺激が強すぎた。



汗をかきながら乗る満員電車。汚れた街。溢れるポルノ。テレビや新聞から聞こえてくる疑惑・汚職・犯罪・似非・墮落・腐敗・・・。先月号のひとごとにも書いたように、まさにぼくの意識は集中していきました。何のための勉強か、何のための大学か、何のための人生か、、、、わからなくなっていったんです。

次第に予備校にも行かなくなった。勉強しているふりをするのが大変だった。更に集中した意識は固定化され、強化されていった。

《逃避・・・》

どこかに行ってしまいたい。。。

ぼくの心を癒してくれた唯一の存在はオートバイ。10年物の中古車SR400です。ちょっぴり改造した単気筒エンジンのこのバイクは、まるで心臓の鼓動と共鳴するかのようなサウンドです。(今では到底考えられないほど爆音でしたけど・・・汗)

寒い季節でしたから11月頃だったと思います。で、冒頭のシーンとなるわけです。

後から聴いたことですが、母は慌てふためいたそうです。『おさむは帰ってこないかもしれない・・・』と。

《出発》

冷たくてピーンと張りつめた空気。人通りもない真っ暗な道を、爆音をかけても大丈夫な通りまで押して歩く私・・・そして愛車は、キック一発で目を覚ましてくれました。

19歳の頃です。半径20km以上先の世界など知る由もありません。ロードマップを頼りに走り出しました。

しかし、行けども行けども同じような景観(真っ暗でしたけど)。ガソリンスタンドに車のディーラーとコンビニ。同じような看板にこちゃこちゃとひっかかる信号、そして車の排気ガス・・・。走っていてもぜんぜんおもしろくありません。つまらない。

《あの、広がりの感覚・・・》

2時間も走ると東の空が白々と明けてきました。バックミラーには朝焼けがとても美しく輝きます。そんな時です。目の前がパーパーッと開けました。大きな川の橋を渡った時、東から登る太陽に、ぼくの行こうとする方向の山並みが照らし出されたのです。川面は紺色に輝き、空は朝焼けの見事なグラデーション!美しい!!!

あつという間に通り過ぎてしまったけれど、ものすごい戦慄を感じた。ものすごく美しくてところが震えた。その時渡った橋が何処なのかもわからずに、その瞬間からスイッチが切り替わったかのようにこのバイクの旅が楽しくなりました。ヘルメットの中の自分がニコニコしていたのを覚えているくらいです。

《その後》

親を心配させたであろうこのバイクの旅も無事に終わり、その後ダラダラとした浪人生活を送り、結局小山市にある白鷺大学に入学。学生生活が始まりました。

ある時、実家から大学に帰ったときの事です。驚きました。あの場所がなんと、自分が住む事になった借家のすぐそばだったのです!『思川(おもいがわ)』といいます。その思川の河川敷に建つ大学を5年かけて卒業。そしてその思川で生まれ育った女性と出会い結婚。今に至る・・・。

人生ってほんとうに面白いな、と思います。アタマがおかしくなりそうなほどのあの時に、思い切って日常を破ったSR400での初めての旅。その旅で『戦慄』といえるほど感動したあの瞬間の場所。その後のその場所での出会い。。見えないけれども、大きな何かに動かされているとしか思えないようなエピソードって、あるんですね。

カタロ通信の郵送を停止してから6ヶ月。なんか、とっても寂しいんです。つながりが途切れてしまったようで寂しい。なんとか、試行錯誤してまたご縁のある方とのつながりツールとして、ぜひぜひ復活させたいです。ではまた。



## ～今月のおすすめ～ ガス風呂給湯器

ノーリツ ガス風呂給湯器24号タイプ  
GT-2450SAWXBL マルラリモコンセント

3月30日付  
価格.com 最安値と同じ価格で提供させていただきます。

**97,200円** 通常定価324,000円の  
**70%OFF!!**

標準取付け工事費 **25,000円**(LP ガスの場合)  
都市ガスの場合 (別途見積40,000円前後)

★現在の給湯器の種類により設置工事費が増減する場合がございます。  
★現場を見せていただきます!お気軽にお電話下さい!

数量  
限定!!  
3台です。